ＳＯＳの出し方に関する教育　授業案⑧－２（学校主体）

対象学年：中学生～高校生（全般）※専門職と連携した学校主体による２時間目の授業

ねらい　：悩みを抱えている友達への声のかけ方や話の聞き方について動画を基に考えることを通して、友達へのサポート方法を理解し、互いに支え合うことの大切さに気付くことができる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動・内容 | 留意点・スライド番号 |
| 導入５分 | １　本時のねらいを確かめる。〇友達の様子がいつもと違って元気がない場合を設定し、どのように接するか考える。　＜声をかける＞「どうしたの」「大丈夫」「話なら聞くよ」　＜優しく見守る＞いつでも話を聞けるように待つ。　＜遊びに誘う＞　気分転換をすることで気持ちをリフレッシュする〇実際に悩みを相談された時、どのように話を聞いたら　よいかについて問題提起をする。困っている仲間への関わり方について考えよう。 | ・〔スライド３〕＜留意点＞　　カテゴリーに分ける必要はない。気軽な雰囲気で、複数の意見を出させることが大切。・〔スライド３・４〕 |
| 展開35分 | ２　具体的な場面から、悩みを抱えている友達に対しどのように関わるとよいか考える。　＜声のかけ方編＞　〇〔スライド７〕動画に出てくる二人の声のかけ方の違いに注意して最後まで視聴する。〇女子生徒の声のかけ方を参考にしながら、ポイント等を【ワーク①】に書き込む。〇グループで意見交流をし、元気がない友達に声をかけるときのポイントをまとめる。　＜話の聞き方編＞　〇聞き方についてもポイントがあることを伝え、先の動画を「聞き方」に注目しながら再度視聴し、そのポイントを【ワーク②】に書き込む。〇グループで意見交流をし、相談や悩みを聞くときのポイントをまとめる。〇声のかけ方、話の聞き方のポイントを活かしながら、実際に練習する。 | 全体動画３分２１秒・〔スライド５～７〕＜留意点＞　特に女子生徒に注目するよう促す。・〔スライド９〕・〔スライド１０〕・〔スライド１１・１２〕・〔スライド１３・１４〕 |
| ３　相談者の心理状態を理解し、適切な声のかけ方、話の聞き方について考える。　〇〔スライド１５・１６〕「うるさい！ほっておいてよ」と言ってしまった主人公の気持ちや理由について考える。男子生徒「何があったか知らないけれど、そんなこと気にせずに元気出せよ」　　・私にとっては「そんなこと」ではない。　　・元気出せと言われて元気は出せない。　　・軽い。私の気持ちを全然分かっていない。　〇それでも上手く相談できないことがあり、その際の心理状態や周囲の人ができることを考える。 | ・〔スライド１５～１６〕＜留意点＞　必要に応じて、動画を２２秒まで視聴する。　相手に寄り添う姿勢を大切にする。・〔スライド１７・１８〕　失敗してもやり直せることお互い支え合う大切を伝える |
| 終末10分 | ４　本時のまとめをする。　〇【ワークシート】に感想をまとめる。 | ・〔スライド１９〕　 |